

板橋区のうつり変わりを絵年表で見てみよう

むかしのくらしを見て、今のくらしはどうか考えてみよう。

板橋の人たちのインタビューも聞いてみよう。

交通

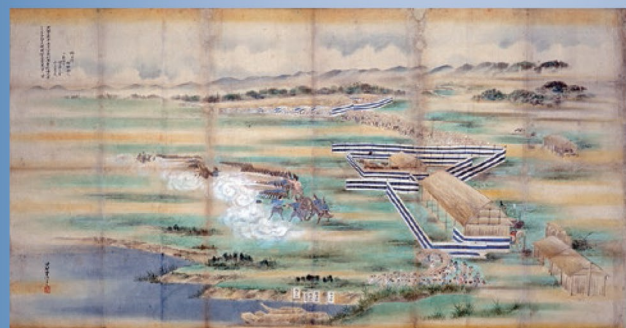


徒歩や馬で移動
木曾街道板橋之駅 漢斎英泉画 天保6年(1835)

街道を行き交う馬に
乗せられる荷物の重さは、
幕府が決めて
いるんだよ。



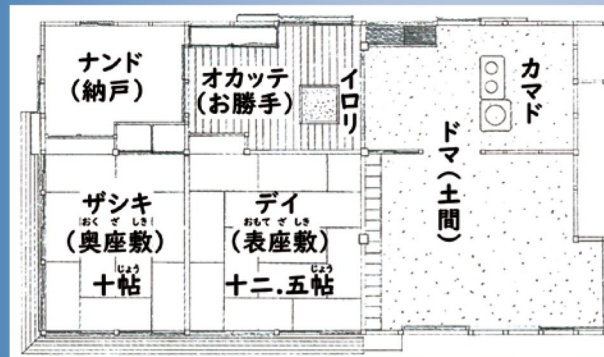
土地



徳丸原で、高島秋帆による砲術訓練がおこなわれたようす
天保12年(1841)

「高島平」の地名は、
西洋流砲術の訓練
をおこなった「高島
秋帆」に由来して
います。

住まい



旧田中家住宅の間取り
江戸時代後期(今からおよそ200年前)の農家の住まい



旧田中家住宅の外観

日常生活は、「デイ」で
過ごしました。
お客さんは、「ザシキ」
にご案内しました。
食事は、「オカッテ」で
とりました。

くらし



井戸

お風呂やせんたくに使う
水は、井戸からくみ上げます。
それを家まで運ぶのは
なかなか大変です。



「カマド」

「カマド」で調理します。
火は、まきでおこします。
まきは近くの林から
ひろうんですよ。



江戸

～1868年

明治

～1912年

大正

～1926年

1932年10月1日
板橋区ができる

1945年
太平洋戦争が終わる

昭和

1960年頃
高島平団地が計画される



志村一里塚の前を走る都電
【板橋区公文書館所蔵】昭和29年(1954)

都電は、通勤
や買い物に行
くときに使わ
れていました
が、自動車が
普及していっ
たことにより、
無くなってし
まいました。

「赤塚田んぼ」・「徳丸田んぼ」では、お米がたくさんつくられていました。
今のどのあたりでしょうか？



一面に広がる田んぼ

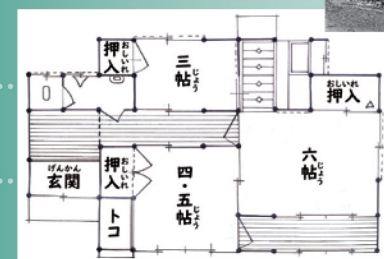


昭和30年代(1955～1964)

板橋第一住宅の外観
【同潤会編「昭和十三年度
事業報告」より引用】



志村地域の工場で働く
人が多く住んでいるよ。
お風呂は無いので、
銭湯に行つて
いるんだ。



板橋第一住宅の間取り
【北区立中央図書館所蔵】昭和13年(1938)



手前には水道、
奥にはガスコンロ
がそなえつけら
れています。

マッチで火を
つけます。

戦争が終わった昭和
20年(1945)ごろから、
水道、ガスの利用が広
がりました。



ガスコンロ

台所
【同潤会十八年史】より引用
※写真は、鶴見(神奈川県)の台所。板橋第一住宅と
同時期に、同潤会によって建てられた住まいです。

昭和

～1989年



都営地下鉄6号線の開通(現在の都営三田線)
【東京都交通局所蔵】昭和43年(1968)12月27日

都電に代わる交通手段
として地下鉄ができたよ。
志村行きとなっているけれど、
志村駅はどこに
あるのかな？



建設中の高島平団地
昭和46年(1971)

高島平団地ができたのは、昭
和47年(1972)です。当時は、
「東洋一のマンモス団地」とよ
ばれていました。
1万1700戸の部屋があり、お
よそ3万人が住んでいました。
高島平団地は大人気で、部屋
によっては、3千人に1人しか
買えませんでした。



高島平団地の間取り 3LDK
【UR都市機構所蔵】



高島平団地の外観
昭和47年(1972)ごろ

当時は、キッチン・お風呂・トイレが
そなわっている住まいはめずらしい
ものでした。
お客さんをおもてなしする部屋と、
家族団らんの部屋は、ベランダに面
した場所にあることが多かったです。
子どもが成長すると、間取りを改造
することもありました。



つまみをひねるだけで火をつける
ことができるんですよ。コンロが
いくつかあるので、みそ汁とおかず
を一度につくることができます。



ガスコンロ